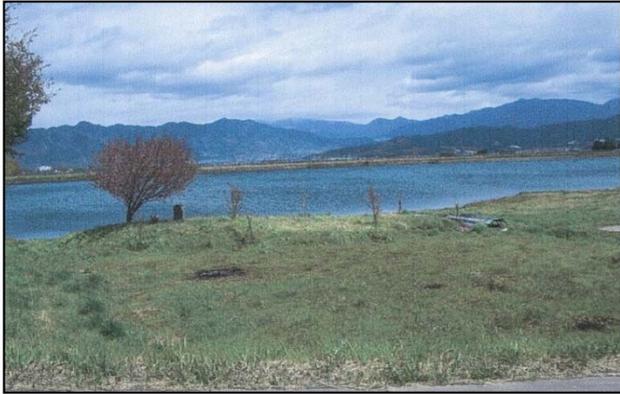


塩田平のたため池群

(しおだだいらのたためいけぐん)



全景



舌喰池の遊歩道と芝ザクラ

たため池の概要

□たため池の所在地

長野県上田市

□たため池の特徴

塩田平は年間降水量900mmと全国有数の寡雨地域で、江戸時代から数多くのたため池が造られてきました。

その数は大小合わせて100ヶ所にも及び、塩田3万石と言われる900haの水田に今も豊かな水をもたらし、地域の農業の礎を担っています。

塩田平には、江戸初期から伝わる民話がある池、白鳥の飛来地となっている池、マダラヤンマの生息地となっている池、蓮や桜の花の名所となっている池など主な池が41ヶ所あり、塩田平の美しい自然に抱かれて豊かな景観を創り出し、地域の人々の日常的な水辺、親水空間として親しまれています。

また、たため池にまつわる民話が数多く残されており、地元では民話に関する催しを開催しています。

たため池群の一つ「舌喰池」は、昔この池が造られた頃、土手から水が漏れて十分に水をためることが出来ず、池を改修するにあたり土手に「人柱」をいれたとの言い伝えに由来するものです。くじ引きで美しい娘さんが「人柱」に選ばれ、当日前夜に身の不運を嘆いて舌を喰いきり、池に身を投げて死んでしまったとの悲しい民話が受け継がれています。

関連情報

塩田の里交流館(愛称とっこ館) お問い合わせ先(TEL)0268-39-7250